

# たかさう 連携だより

2023年発行  
第197号  
**6**月号

着任のご挨拶 ..... 2  
看護部長 今泉 薫子

診療科紹介  
神経内科 ..... 3  
神経内科部長 平柳 公利

地域連携症例検討会  
脳神経外科・神経内科 ..... 4~5  
外科系診療部長・医療情報部長 笹口 修男  
神経内科部長 平柳 公利

病棟紹介  
南5階病棟 ..... 6  
南5階病棟看護師長 持田 涼子

摂食・嚥下障害看護認定看護師の活動 ... 7  
北7階病棟 星野 智美  
西4階病棟 藤田 歩美

リハビリテーション室だより ..... 8  
臨床検査科だより ..... 9  
医師紹介コーナー ..... 10  
地域医療連携登録医のご紹介 ..... 11  
セカンドオピニオンのご案内 ..... 12~13  
外来診療担当表 ..... 14~15  
院長閑話 ..... 16

赤城大沼  
from地蔵岳

撮影：患者サポートセンター 後藤 雅美

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構  
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36  
代表 (TEL) 027-322-5901  
URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>  
地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)  
(TEL) 027-322-5835  
(FAX) 027-322-5925

## 【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

## 【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

## 【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のかもった看護を提供します

## 【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

# 着任のご挨拶

看護部長  
今泉 薫子



4月1日付けで高崎総合医療センター 看護部長を拝命いたしました今泉薫子と申します。職責の重さに身が引き締まる思いであります。

前施設は長野県上田市にあります国立病院機構信州上田医療センターでした。今まで群馬県・長野県内の5施設で勤務させていただき、当院には建て替え前の国立病院機構高崎病院の時代に2002年から2007年まで在籍しておりました。初めての異動で不安ばかりでしたが、高崎城址の桜が満開で背中を押してもらったこと、また2007年には新病院（現高崎総合医療センター）の青写真ができており、高崎病院への期待が膨らんでいたのを思い出します。

高崎総合医療センターは地域医療連携病院として三次救急を担い、高崎・安中医療圏の患者さんの命と医療を守る使命があります。そのため地域が必要とする「高度急性期医療」の充実が求められ、必然的に看護師のスキルアップも求められます。現在も診療看護師や特定行為修了者、専門・認定看護師が活躍し、それぞれの専門分野の知識・技術の実践や指導を行っていますが、さらに当院で求められる分野の看護師の育成に努めてまいります。

この数年間は新型コロナウイルス感染症に振り回されておりましたが、ワクチン接種や治療薬の開発が進み感染症分類でも5類に移行されました。世間一般には「withコロナ」に変化しておりますが、感染力は変わらないことや変異株の出現のリスクによる感染拡大は懸念されますので、気を緩めることなく地域の皆さまが安心して治療を受けられる環境を整えていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

群馬県  
西部地区で唯一  
急性期の  
入院診療ができる  
神経内科です



# 診療科紹介

## 神経内科

神経内科部長 平柳 公利

日頃より高崎総合医療センター神経内科へたくさんの患者様をご紹介いただきありがとうございます。今年度より、神経内科は常勤医師6名の体制で診療を行っております。この常勤医師の数は群馬県内の急性期病院としては、群馬大学脳神経内科に次ぐ規模であり、年々、高崎総合医療センター神経内科の役割が大きくなっております。また、当科は専門医取得を目指す若手医師の割合が多いのも特徴ですが、今年度より医長として柴田真医師を迎え、神経内科専門医2名の体制で後進の指導にも尽力しております。

近年の神経内科領域の治療のトピックスとしては、多発性硬化症や視神経脊髄炎、重症筋無力症といった神経免疫疾患での、モノクローナル抗体製剤などによる分子標的治療が挙げられます。これらの新規治療薬は、それぞれの疾患の活動性や患者様の状態などに応じて選択する必要があり、非常に高度な専門的知識が必要となります。また、薬剤ごとに特有の副反応や合併症の管理が必要となります。しかしながら、治療効果は既存のステロイドや経口免疫抑制薬に対して大きなアドバンテージがあり、これらの既存の治療薬を減量することで、患者様のQOLの改善にも大きく寄与します。当科ではこれらの新規治療を今後も積極的に取り入れてゆき、患者様により良い医療を提供できるよう努めてまいります。

前回（2021年10月）の診療科紹介でも記載させていただきましたが、群馬県西部地区で神経内科として、急性期の入院診療ができる医療機関は当院だけであり、その状況は現在も変わっておりません。群馬県内における神経疾患と診療拠点として、当院の担う役割はますます大きくなってきていると感じております。地域の登録医の先生方、患者様のニーズに応えられるよう、日々の診療に尽力してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



私たちが  
神経内科の医師  
です！

脳神経外科・神経内科領域疾患の  
診断と治療の連携

外科系診療部長  
医療情報部長  
笹口 修男

## 脳神経外科

今回は動眼神経麻痺を認めた未破裂脳動脈瘤の例をお話しさせていただきました。



脳動脈瘤は破裂し、くも膜下出血となってしまうと、治療を行っても、予後不良となるケースがあります。未破裂脳動脈瘤でも無症状である場合の治療につきましては様々な意見があるとは思いますが、今回は未破裂の状態ではありましたが、動脈瘤は増大し、動眼神経障害をきたしたと思われました。増大した際には破裂しやすい状態となっているとも考えられます。このため処置が必要と思われました。

ご紹介いただきましたことで、破裂し、くも膜下出血となる前に動脈瘤の処置を行うことができたと考えております。患者さんも症状も改善、早期に退院できております。

一般に脳動脈瘤の治療では開頭して直接動脈瘤を処理するクリッピングと血管内からプラチナ製のコイルを瘤内に詰める血管内手術があります。

当院では両手術とも可能です。特に血管内手術は手術中に血管撮影など可能なハイブリッド手術室で施行しております。

手術方法はケースに応じ、複数の脳外科医が相談し、選択しております。今回については血管内手術を行いました。血管内手術では動眼神経の圧迫が解除されないのではないかとのご意見もあるかもしれませんが、今回では動眼神経麻痺も改善しております。



以上の内容をお話しさせていただきました。

なお、当科では外来診療は予約制となっておりますが、それ以外に緊急対応も必要なケースも多いため、予約外での診療や緊急の対応も行っております。

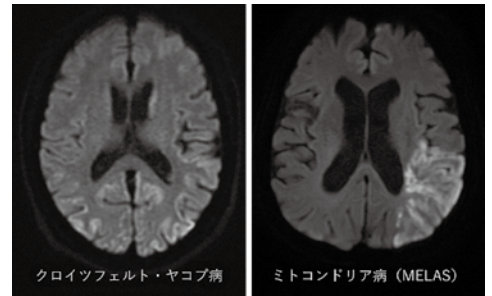


神経内科



神経内科部長  
平柳 公利

先般の第34回地域連携症例検討会では、多数の先生方にご参加をいただき、誠にありがとうございました。今回は神経内科、脳神経外科の担当回で、当科からは急速に進行する認知症、高次脳機能障害で発症した症例として、孤発性クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）、ミトコンドリア病（MELAS）の症例を



提示させていただきました。いずれもMRI拡散強調画像で大脳皮質に広範な高信号を認めることが特徴です（右図）。

症例検討会の中でもお話ししましたが、孤発性CJDの年間発症率は、人口100万人あたり1人程度で、非常にまれな疾患です。しかしながら、当院では直近の2年間で、遺伝性CJDを含め、4例のCJDを診断いたしました。この症例数は、当院のカバーする医療圏を考えても非常に多いと思われ、いかに多くの希少疾患の患者様が当院へ集中しているかということ、あらためて認識いたしました。



われわれ脳神経内科医は、脳卒中、頭痛、てんかん、認知症などのcommon diseaseから、上記のようなまれな疾患まで幅広く診断・治療を行っております。仮に想定される疾患がなかったとしても、先生方が患者様の診療を行っていて「何かおかしい」、「こんな症状は診たことがない」と感じられた際には、患者様を神経内科へ紹介いただくこともご検討いただければ幸いです。



このような疾患の患者様が、認知症や高次脳機能障害を主訴に救急外来を受診する確率は低く、われわれ脳神経内科医の診療＝神経診察に辿り着くためには、登録医の先生方からの紹介が必要となります。このため、先生方が患者様の異変に気が付かれてから、当院へスムーズに紹介いただける体制の構築が重要であることは言うまでもありません。



# 病棟紹介

## 南5階病棟

南5階病棟看護師長 持田 涼子



当病棟は、  
病床数47床、  
心臓血管内科・  
心臓血管外科の  
病棟です

心臓血管内科では、心筋梗塞・心不全・不整脈、末梢動脈閉塞疾患などの患者さんに対して、血管内治療や、カテーテルアブレーションやペースメーカーなどのデバイス植込術を行っています。病棟では心電図モニターを常時観察し異常の早期発見に努め、医師と協力しながら適切な治療と看護を実践しています。いつ不整脈が起こるかわからない不安を抱える患者さんへの精神的援助や、退院後の生活指導や、薬剤師と連携した服薬指導などを行っています。

心臓血管外科では、大動脈瘤や大動脈解離に対して人工血管置換術やステントグラフト内挿術などの手術が行われ、病棟では急性期～回復期へ移行する患者さんの看護を行っています。急性期看護に必要な全身管理や異常の早期発見ができるよう専門性の高い知識・技術の習得のため日々頑張っています。

心不全を患う患者は増加しており、2030年には心不全患者が130万人に達すると推計されています。再入院率の高い高齢慢性心不全患者さんに対して、自己管理に関わる支援が重要となってきます。

当病棟では、2022年に心不全コアチームを発足し、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、メディカルソーシャルワーカーなど、多職種と連携し、様々な視点から患者さんをサポートしています。お互いを尊重しながらチーム医療を行い、患者さんやご家族に寄り添う看護を行い、患者さんに安心して安全な看護を提供できればと思います。

近年の心不全患者さんの高齢化とともに、御家族も高齢の場合も多く、患者さんの自宅でのサポートにも困難が生じています。画一的な治療ではなく、患者さんそれぞれの価値観を重視し、患者さんの生活背景に適した最善の心不全治療を行い、患者さんがその人らしく在宅で生活できるよう、地域との連携を図っていきたいと考えています。



心臓リハビリテーション  
カンファレンスの様子

患者さんの  
「食べたい」という  
思いに  
寄り添います



# 摂食・嚥下障害看護 認定看護師の活動 について

摂食・嚥下障害看護認定看護師



摂食・嚥下障害看護認定看護師  
北7階病棟 **星野 智美**

私は人間にとって口から食べることは楽しみであり、喜びに繋がっていると思います。しかし、加齢や病気により食べることが障害となる患者さんに多く出会ってきました。食べたくても食べられない思いをもつ患者さんの気持ちに伝えるため、摂食・嚥下障害看護認定看護師が存在しています。患者さんの食べられない原因は何か、全身の状態から考えていきます。食べ物を噛む力、飲み込む力が低下している状態からリハビリを行うと同時に、誤嚥性肺炎・窒息などの危険を避けられるように一口の量や姿勢の調整を実施します。また栄養の低下・脱水・食べる楽しみを失ったなど「食べないことによるリスク」に対しても医師、歯科医師、管理栄養士、言語聴覚士と共に協力し、栄養状態が良くなるように支援していきます。一人でも多くの患者さんの「食べたい」という思いに寄り添い認定看護師として力になりたいと思います。



摂食・嚥下障害看護認定看護師  
西4階病棟 **藤田 歩美**



栄養管理は健康な身体を維持するための基本であり、治療効果を高めるとともに患者さんの生活の質に大きく関わるものです。私たち摂食・嚥下障害看護認定看護師の役割は、嚥下機能評価、食べやすい食事内容の検討、口腔内のケア方法、食事摂取時の注意点など方法を検討し、誤嚥性肺炎や窒息、脱水などの予防や改善に取り組みます。

当院での具体的な活動として、嚥下内視鏡検査を用いた嚥下機能の評価を実施します。嚥下内視鏡検査を行うことで、入院早期からの栄養管理や経口摂取の開始、患者カンファレンスや栄養管理方法の見直し、嚥下訓練実施につながるよう支援しています。

当院では、昨年4月より3名に増員され日々協力しながら活動しています。摂食・嚥下障害看護認定看護師は、歯科口腔外科医師、管理栄養士、薬剤師、リハビリスタッフなど多職種と連携しより専門的な看護を目指しています。

食事がむせるようになった、美味しく感じなくなった、口腔内のケア方法が分からないなど困ったことがあれば、ぜひご相談下さい。

# リハビリテーション室 だより

リハビリテーション科

## 心不全 パンデミック到来

運動で  
心不全に立ち向かう

みなさん、心不全という病気をご存じですか？

心筋梗塞や不整脈などの心臓の病気がある方や、糖尿病や高血圧など心臓の病気になる可能性がある方に起こる病気です。心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮めるという特徴があります。

心不全は高齢になるほど発症しやすいといわれています。高齢化が進む日本では、この心不全の患者さんが急激に増加することが予測されています。いわゆる「心不全パンデミック」の到来です。

重症化した心不全の予後は、がんより悪いともいわれています。まずは心不全を発症しないこと、もし心不全を発症したら憎悪させないことが重要です。

運動はインスリン（血糖値を下げるホルモン）の効きをよくして糖尿病治療に役立ったり、心筋梗塞の原因である動脈硬化の危険を減少させたりします。また、ある研究では、心不全の患者さんが継続して運動を行うと、全死亡率は42%、心不全による入院は19%減少し、生命予後を改善したという報告もあります。つまり継続した運動は、心不全を予防すること、憎悪を防ぐことの両方に効果があるということです。

おすすめは有酸素運動（息切れなくできる程度のウォーキングなど）やレジスタンストレーニング（まずは無理なく10回連続してできるような筋力トレーニング）です。また、運動を継続するためには、“治療のために運動をしなければならないから”という理由を持つだけでなく、ストレスなく、楽しくできることも大切です。

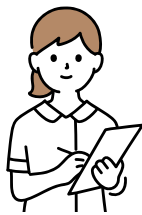
心不全は寒くなると憎悪しやすい病気です。ぽかぽかと暖かくなってきた今、ご自身のからだに心地よいと感じるような運動を始めてみませんか？



過度な運動は逆に体の負担になります。  
ご病気のある方は、運動を始める前に  
主治医に相談してください。

ご病気のない方も  
体調に応じて無理なく  
行うようにしましょう。





## 第74回 臨床検査科だより

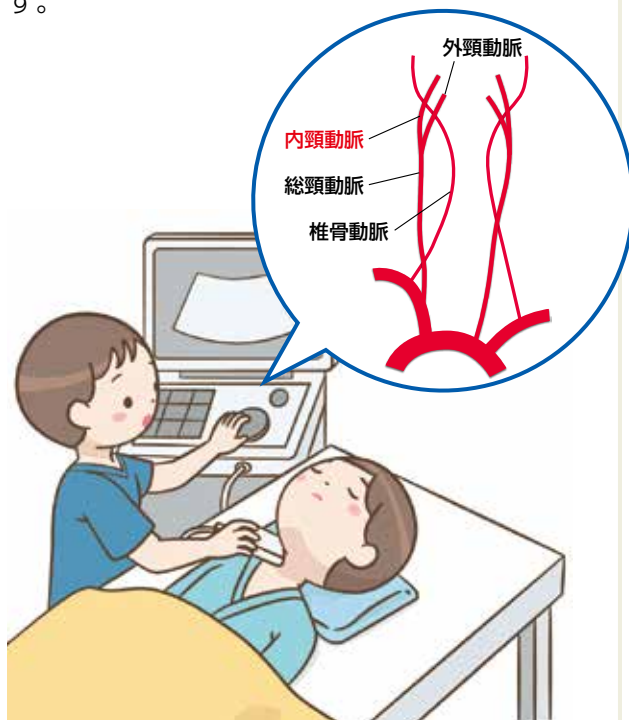


### 頸動脈エコー検査

前は動脈硬化検査の一つである血圧脈波 (ABI+CAVI) についてお伝えしましたが、今回は頸動脈エコーについてです。

頸動脈は首の左右を通るドクドクと拍動を感じることで太い血管で脳へ血液を送る血管です。

頸動脈の狭窄が進行すると脳へ血液が行なくなり、脳梗塞を起こすことがあります。脳梗塞は起こした箇所や大きさにより半身麻痺や感覚の障害、言語障害、認知症などの後遺症の原因となり、場合によっては生命に関わる可能性もあります。そのため頸動脈内の狭窄や血栓の評価に頸動脈エコーが行われます。



検査はエコーゼリーを首に塗り、プローブと呼ばれる機械を当てながら動かしていきます。

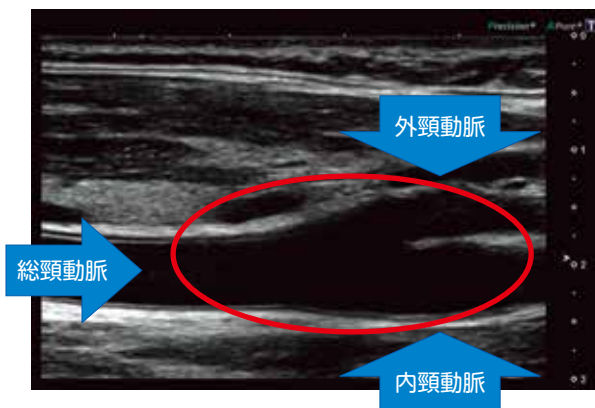
プローブから人間には聞こえない音 (超音波) を出し、頸動脈まで届いて反射した波を画像に変換します。

プローブを通してモニターに頸動脈が映し出されるので画像を確認しながら脳へ向かう動脈 (総頸動脈、内頸動脈、外頸動脈、椎骨動脈) の太さや、プラーク (脂肪などの線維など) や血栓などを計測していきます。頸の下あたりで脳に血液を送る内頸動脈と顔に血液を送る外頸動脈に分かれます。

写真の分枝部周辺は、全身の血管の中でも動脈硬化が強く出やすい場所です。またプラークにより血管の狭窄がある場合、狭窄率評価をすることができます。狭窄率は壁にこびりついたプラーク部分の面積と、血液の流れる部分の面積の比率を計算して出します。

検査時間は約20分程度です。(※状況により検査時間は前後します。)

多少の顔の向きを変えていただく場合がありますが仰向けに寝たまま検査できる簡便で非侵襲的な検査です。



実際に狭窄や血栓の画像をご覧いただくと生活習慣を見直す機会になるかもしれません。



救急科

むらた まさと  
村田 将人

今年度4月より、高崎総合医療センター救急科に所属となりました、村田将人と申します。

私は研修終了後に、群馬大学病院救急科/救命救急センターで約10年間三次救急医療を学び、その後埼玉県石心会病院という埼玉県で最も救急搬送台数の多い、いわゆる野戦病院で2年間働いてきました。重症患者を集中的に診ることや、軽症～中等症の患者を多く診ること、ともに奥深くやりがいがあることと感じております。

また、熊本震災や台風19号、白根山噴火等の現場を経験し、災害医療にも積極的に取り組んでいけたらと考えております。

このたび地元である高崎市に戻って参りました。今まで学んだ救急医療を、高崎市や群馬県に還元できるよう精一杯頑張りたいと思います。



外科

いえた けいすけ  
家田 敬輔

2023年4月から高崎総合医療センターに勤務させていただいております、家田敬輔と申します。出身は千葉県で、群馬大学を卒業後、外科に入職し、県内外の病院に勤務させていただいておりました。高崎総合医療センターに勤務する前は伊勢崎市民病院に勤務しており上部消化管を中心に診療しておりました。高崎での勤務は初めてではありますが、他科に同期が多く頼もしく思っております。定時の手術に加え緊急の手術も多く、大変忙しいと感じております。至らぬ点もあるかと存しますが、地域の皆様に貢献できるように地域の先生方や当院の医師、スタッフの方々と協力しながら丁寧な診療を心がけて行っていきたく思っております。よろしくお願いいたします。

# 地域医療連携登録医のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

## ニコ内科クリニック

### 院長あいさつ

私は医師として、患者さんやそのご家族に寄り添う医療を提供したいという強い思いがあり、この度、2022年5月に高崎市棟高町で「ニコ内科クリニック」を開院させていただきました。何でも聞ける家庭医（かかりつけ医）として、健康に関する不安や疑問に対応し、皆様やご家族が、この地域で「笑顔で暮らせる」ことを目指します。地域の皆様に信頼され、愛されるクリニックとなれますよう、スタッフ一同、思いを一つにして日々取り組んで参ります。



ニコ内科クリニック  
院長  
高田 晋



### 診療科・病院案内

#### 一般内科・訪問診療

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:00)	●	●	△	●	●	●	△
午後(17:00~19:00)	●	●	△	●	●	△	△

※13:00~16:00は訪問診療になります。

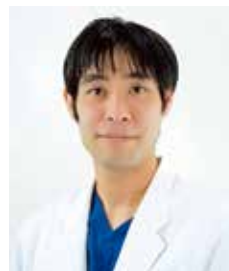
群馬県高崎市棟高町94-1  
TEL:027-386-2592

当院では、まず症状を詳しくお聴きし、その上で診察や必要な検査を勧めさせていただきます。その後、ご本人様に適した治療の提案や、丁寧に説明を行います。さらに精密検査や専門の治療が必要と考えられる場合には、近隣の専門病院にご紹介させていただき体制を整えております。「何科に相談したらいいかわからない」とお悩みの方や、通院が困難な方に対する訪問診療についても、お気軽にご相談ください。

## 細谷透析クリニック

### 院長あいさつ

東日本大震災直後の石巻で6年間従事し、救急・災害医療のマインドを育てました。その時に、医療とテクノロジーの融合の大切さを痛感しました。テクノロジーの力を借りて、より効率的かつ質の高い医療を提供することを目指しています。また、患者さんがより快適に医療を受けられる環境づくりにも注力しています。透析だけでなく救急クリニックとしての立ち位置を築いていきたいと思っております。



細谷透析クリニック  
院長  
榎本 純也



### 診療科・病院案内

#### 内科・外科・胃腸内科

診療時間(透析受付)	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(8:30~12:30)	●	●	●	●	●	●	△
午後(12:30~17:30)	●	●	●	●	●	●	△

外来は予約制

※透析室回診や緊急対応時は受診時間の変更をお願いする場合がございます。

群馬県富岡市富岡2653-1 TEL:0274-89-1007

### 当院紹介

- 透析ベッド数：61床
- Wi-Fiによるインターネット接続
- 管理栄養士による栄養指導・栄養相談
- オンラインHDF対応
- 各ベッドアーム式テレビ
- 院内完全バリアフリー
- 停電時透析可(非常用発電機完備)

# セカンドオピニオンのご案内

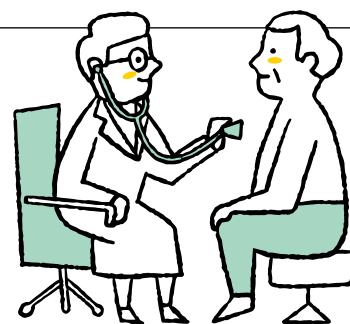
当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。  
概要につきましては以下のとおりです。

## 01 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者がご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

## 02 実施診療科 【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、  
小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、  
脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、  
眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



### 予約方法

### 完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し  
当センターより連絡させていただきます

### 外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

### 費用

30分以内 5,500円（消費税込み）

30分以上 11,000円（消費税込み）

## セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。

医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的に勧めしております。

## セカンドオピニオン 外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精神科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼吸器内科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消化器内科	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田 智之	食道、胃、大腸	
心臓血管内科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
	福田 延昭	心不全、弁膜症	木
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	坂元 一郎	消化器外科全般	水
	家田 敬輔	上部消化管	水
	平井 圭太郎	肝臓、胆のう、膵臓	水
	宮前 洋平	下部消化管	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳がん全般・甲状腺外科	随時
	高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心臓血管外科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼吸器外科	伊部 崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳神経外科	田中 志岳	脳腫瘍	月
	笹口 修男	水頭症、脳外科一般	木
	佐藤 晃之	血管障害	金
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放射線治療科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯科口腔外科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	柴野 正康	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

# 外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。  
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 飯塚 堯	佐藤 正通 植原 大介	(真下 大和) 予約のみ	佐藤 正通 飯塚 堯 (合田 史) 午後：予約専門外来	佐藤 正通 植原 大介 予約のみ
栄養食事指導外来		佐藤 正通 午後			
内分泌代謝内科	渋沢 信行	倉林 理紗 (植原 正也)	植原 良太 倉林 理紗	渋沢 信行 午後	渋沢 信行 植原 良太
神経内科	椎名 葵 (池田 雅美) 午前	平柳 公利	平柳 公利 初診のみ 唐澤 将紀	柴田 真	清水 一輝
呼吸器内科	中川 純一 (星野 裕紀) 午前	細野 達也 内田 恵	田口 浩平 小林 頂	中川 純一 竹村 仁男	細野 達也 内田 恵
消化器内科	長沼 篤 安岡 秀敏 上原 早苗 相原 幸祐 (石原 弘) (廣田 堇) 午後	星野 崇 鈴木 悠平 佐野 希望 相原 幸祐 午前	柿崎 暁 安岡 秀敏 増田 智之 増田 智之 鍋木 琢也 (石原 弘) (小林 倫太郎) 午後	長沼 篤 増田 智之 鈴木 悠平 古市 望 午前	星野 崇 佐野 希望 田村 優樹 (小林 倫太郎) (廣田 堇) 午前
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 田村	安岡 / 増田 / 古市	上原 / 佐野 / 相原	上原 / 佐野 / 相原	長沼 / 鈴木 / 鍋木
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌樹 村田 智行 瀬田 博貴 第1, 3週午前	石橋 洋平 高橋 伸弥 午前	広井 知歳 太田 昌樹 羽鳥 直樹 午前	福田 延昭 高橋 洋右 千吉 良彩花 第1, 3週午前 第2, 4週午前	太田 昌樹 小林 紘生 柴田 悟 午前
新患外来(午前)	高橋 伸弥	柴田 悟	村田 智行	羽鳥 直樹	石橋 洋平
心不全予防外来		第2, 4週午後			
精神科	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前
小児科	五十嵐 恒雄 内田 亨 田口 未奈 前原 孝 (荒川 篤康) 午後	五十嵐 恒雄 倉田 加奈子 斎藤 淑人 (神尾 綾乃) 第4週午後	五十嵐 恒雄 倉田 加奈子 佐藤 幸一郎 (滝沢 琢己) 第2, 4週午後 <乳児健診> 午前	倉田 加奈子 植原 実紅 東野 允奎 (西澤 拓哉) 午後 (岩脇 史郎) 午前	五十嵐 恒雄 佐藤 幸一郎 小笠原 聡 (浅見 雄司) 午後第1, 2, 4, 5週のみ 第3週午後のみ
小児外科		(西明・高澤慎也) 第4週午後	(西明・高澤慎也) 第1, 3週午後		
外科 (消化器)	坂元 一郎 斉藤 秀幸 午前：通常 / 午後：肝胆専門外来 午前：通常 / 午後：食道専門外来	小川 哲史 星野 万里江 小川 哲史 午前	家田 敬輔 生方 泰成 午前：通常 / 午後：上部消化器専門外来	平井 圭太郎 井田 晃頌 午前	宮前 洋平 齊藤 裕紀乃 午前
栄養サポート外来		小川 哲史 午後			
禁煙外来					
ストーマ外来			第2, 4週午後・予約	予約	
泌尿器科	井上 雅晴 栗原 聰太 午前	栗原 聰太 柴田 康博 午前	交代制	柴田 康博 井上 雅晴 午前	交代制

## 01 外来診療受付時間

8:30~11:00迄

(予約の場合は最終予約時間まで)  
※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでのお薬をご持参ください。

## 02 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。

地域医療支援・  
連携センターから  
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、  
地域医療支援・連携センターを通した  
事前予約にご協力下さい。

令和5年6月1日現在

	月	火	水	木	金
疼痛緩和内科 看護相談外来	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 午前	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 午前	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 徳田尚子 午前	(荻野美里) 第2,4週午後 (田邊恵子) 第1,3,5週午後 交代制 午後・予約	高他大輔 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 第1,3,5週午前 第2,4週午前
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後	<手術日>	小谷野哲也 午前 羽鳥恭平 午後	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>
整形外科	荒毅 信太晃祐 遠藤史隆	大澤敏久 大島淳文 都築俊平	荒毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 都築俊平	新井厚 午後 遠藤史隆 <手術日>	大澤敏久 一ノ瀬剛 大島淳文
形成外科	交代制 <手術日>	中村英玄 午後 角田彩	中村英玄 午前 角田彩 午後	<手術日> 角田彩 午前	中村英玄 午前 <手術日> 午後
脳神経外科	田中志岳 (井上千鶴) 午前	齋藤貴寛 <手術日>	<手術日> 上原顕仁 初診のみ・午前 荒木健 午前	笹口修男 <手術日>	佐藤晃之 午前 上原顕仁 午前 荒木健 午前
産婦人科 遺伝性腫瘍外来	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 周藤周	<産後健診>	(金井眞理) 午前 (塚田蓉子) 午前 伊藤郁朗	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
眼科	土屋明 紹介・予約	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史 午前
放射線治療科	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (大高建) 午前	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (富澤建斗) 午前
歯科口腔外科 新患外来	柴野正康 紹介・予約 田中斉 紹介・予約	<手術日>	田中斉 紹介・予約 柴野正康 紹介・予約	柴野正康 紹介・予約 田中斉 紹介・予約 交代制	<手術日>
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1,3,5週のみ・紹介・予約 渡邊真央 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約 (荒井亮・辻野啓一郎) 第2,4週のみ・紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 渡邊真央 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約

( )の医師は非常勤です。

### 03 | 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

### 04 | 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

# 院長閑話

vol.25

## 松井秀喜氏と 沢松奈生子氏の講演

院長 小川 哲史



コロナ禍が収束に向かうに伴い、様々な会合が開催され飲食を伴う懇親会も再開されています。医療に関する研究会や学会も、現地での開催やウェブとのハイブリッド形式での開催が多くなりました。今春、私も数年ぶりに日本外科学会と日本臨床栄養代謝学会に現地参加しました。

学会の楽しみの一つに著名人による特別講演があります。スポーツの選手や監督が講師をすることも多く、これまでプロ野球の野村克也監督や桑田真澄氏、プロゴルファーの中島常幸氏、柔道の古賀稔彦氏、女子プロテニスの杉山愛氏などの講演を聴き、とても感銘を受けました。今回の外科学会ではプロ野球の松井秀喜氏、日本臨床栄養代謝学会ではプロテニスの沢松奈生子氏の講演がありました。

松井氏は、巨人の長嶋監督からドラフトで一位指名され希望球団ではなかった巨人に入団し、入団直後から「巨人の真の4番になるため」と監督から自宅やホテルに呼び出されて、マンツーマンでひたすら素振りを指導されたそうです。その結果、素振りのバットの音でスイングの良し悪し分かるまでになり、ヤンキースに入団してからも監督がニューヨークに来た時に「バット2本持ってプラザホテルに来い」と、寝ていたところを突然ホテルに呼び出されて素振りをしたそうです。長嶋監督ならではのお笑いの作り話のようですが、困惑しながらも嬉しそうな松井氏の顔が目につきます。会場は古き良き時代の温かい師弟関係に大いに沸きました。松井氏は彼の著書どおり「信念を貫く」「不動心」の人生を歩んでおり、また大リーグでの成功後も変わらぬ謙虚さにも感銘を受けた、とても心の温まる講演でした。

一方、沢松奈生子氏の講演は非常に衝撃的でした。海外のプロスポーツ界のランキングによる経済的な格差、差別の話は有名ですが、世界のプロテニスツアーに参加している選手でも経済的な理由で十分な食事がとれず、ごはんにはバターを載せて醤油をかけただけの食事が安くて美味しいと、ツアーで大人気だったそうです。さらに格式が高いことで有名な英国のウィンブルドン選手権では、本戦に参加している選手の控室は世界ランキングにより3段階に分かれていて、上位16位のシード選手には赤い絨毯のメイド付きの個室が用意されますが、下位の選手は大部屋で、ウエアなどのサポートもなし。また、試合前の練習では下位の選手は4人でコート一面を1時間のみで、一方、あの時代の絶対的な女王だったドイツのグラフ選手は1人でコート一面を4時間使えたそうで、その差別の理由を大会関係者に聞くと「ビコース シー イズ グラフ!」との答えだったそうです。

さらに驚いたのは、まだ人種隔離と差別制度のアパルトヘイトがあった時代（～1994年）の南アフリカの選手との試合の話です。その選手は非白人である沢松さんとの試合後の握手を拒否しましたが、主審の指示でしぶしぶ指先だけ触れる(!)握手をし、そしてコートサイドのベンチに戻ってからは、触れた指先をタオルでゴシゴシ拭いたそうです!その後にはアパルトヘイトが廃止され、その選手は非白人との接し方が分からなかった故の不適切な行為だったと沢松さんに謝罪し、それからはダブルスを組むほど仲良くなったそうですが…。このような行為は選手個人の責任ではなく、生まれ育った国や社会による問題で、沢松さんも明るく話していましたが、なんとも言えない話でした。

スポーツ本来のランキングによる格差はしょうがないとしても、世界には先進国を含めいまだに階級や収入による辛辣な格差、国籍や人種などによる密かなあるいは公然とした差別があります。日本でもいまだに性別を始め、歴史的あるいは民族的な差別も残っています。これらの差別を一朝一夕になくすことは難しいけれど、一人一人が差別をなくすために努力するしかない、改めて考えさせられた沢松氏のシビアな講演でした。

(5月22日)

## Information

行事などのお知らせ

### 第37回地域連携症例検討会

#### 放射線治療科・疼痛緩和内科領域疾患の診断と治療の連携

日時：2023年7月26日(水) 18:45～20:00

演者：高崎総合医療センター

放射線治療科部長 永島 潤

疼痛緩和内科部長 田中 俊行

対象：医療従事者

高崎総合医療センターよりWEB配信

※申し込み必要



登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。  
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

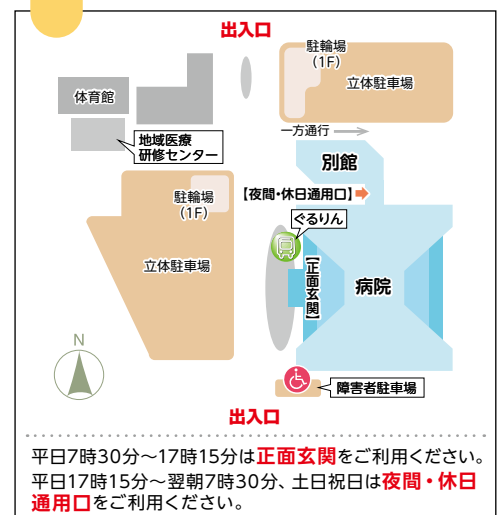
<https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html>

検索



高崎総合医療センター  
公式 Facebook

### 高崎総合医療センター案内図



独立行政法人国立病院機構

高崎総合医療センター